

無線照明制御システム
(無線) ライコネックス
LICONEX
ベースモジュール

取扱説明書

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

日本国内専用

電気工事必要

この器具の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

目次

安全上の注意	P04
電波の使用に関する注意	P06
各部の名称	P07
取り付けかた	P08
取り外しかた	P10
LiCONEX システムの概要	P11
1 システム構成	P12
2 無線通信の注意点	P13
3 タブレットの接続のしかた	P14
4 基本の画面構成	P16
照明器具の制御のしかた	P17
1 配灯画面のみかた	P18
2 基本制御(点灯・消灯／調光／調色)	P20
3 シーン制御	P24
4 スケジュール制御	P25
5 センサー制御	P26

各種設定のしかた	P27
1 各種設定画面への移動	P28
2 システム設定画面	P29
3 システム最大調光率	P30
4 システム時刻設定	P30
システム拡張について	P31
1 ベースモジュールの灯具制御台数拡張と 複数台構成	P32
2 マスターベースモジュールの制御	P34
お困りのときは	P36
保証とアフターサービス	P40




安全上の注意





ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味	 注意を促す記号	 してはいけない [禁止] 内容	 しなければならない [指示] 内容
---------------	--	--	--

施工担当者様へ ● 工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。		
<div data-bbox="115 589 177 660">  必ず実施 </div> <ul style="list-style-type: none"> ●電源は定格電圧・定格周波数で使用する 電源電圧AC100（Fケーブル使用の場合はAC100-242V）（電圧変動±6%以内）、周波数50Hz／60Hzであることを確認してから、取り付けを行ってください。正しく使用しないと、短寿命や火災の原因になります。 ●接地（アース）工事・接続を確実に行う 「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。接地工事が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。 ●施工は施工説明にしたがい確実に行う 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令にしたがい作業してください。施工が正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。 ●器具質量に耐える場所に取り付ける 取り付けが正しくないと、感電や落下による重大な事故の原因になります。 ●照明器具とは別回路で施工する 常時給電できるように施工してください。 	<div data-bbox="603 589 665 660">  禁止 </div> <ul style="list-style-type: none"> ●破損している器具を取り付けない 感電・火災・落下・けがの原因になります。 ●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない 火災や感電の原因になります。 ●粉塵・オイルミスト・引火性ガス・虫が発生する場所には取り付けない 発煙・火災の原因になります。 ●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない 暖房器具の真上に取り付けると、器具が過熱し、発火・感電・落下の原因になります。 ●分解や改造はしない 器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。 		

 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。		
<div data-bbox="115 1229 177 1300">  必ず実施 </div> <div data-bbox="115 1341 177 1412">  禁止 </div> <ul style="list-style-type: none"> ●屋内の適正温度（5～35℃）で使用する 屋外や高温で長期間使用する場所に取り付けると、故障や短寿命の原因になります。 ●指定以外の姿勢で取り付けない 落下・破損・故障の原因になります。 ●振動・衝撃のある場所には取り付けない 落下・破損の原因になります。 	<div data-bbox="603 1229 665 1300">  禁止 </div> <ul style="list-style-type: none"> ●直射日光の当たる場所には取り付けない 器具の劣化・腐食・落下の原因になります。 ●雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない 水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。 ●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない 腐食や落下の原因になります。 		

お客様へ ●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●異常の際は電源を切る

異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。

●清掃の際は必ず電源を切る

感電や破損の原因になります。



禁止

●可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない

器具を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。



禁止

●破損した器具を使用しない

器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

●分解や改造はしない

器具の分解・改造、部品の追加・変更や塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない

火災や感電の原因になります。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●定期的に点検する

3年に1回は点検を実施してください（当社専門担当が行います）。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。

●屋内の適正温度（5～35℃）で使用する

屋外や高温で長期間使用すると、故障や短寿命の原因になります。

お手入れ方法

安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。

- 清掃する際は必ず電源を切り、器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
- シンナー、ベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

電波の使用に関する注意

本機に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の工事設計認証を受けています。したがって本機の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

- 本機の無線装置は、日本国電波法に基づく認証を受けていますので、本機の分解や改造はしないでください。適合した製品や部品の分解や改造を行うと、法令により処罰の対象になることがあります。
- 本機は、日本国電波法に基づいて設計・製造をしており、日本国内使用の目的で認証を受けています。そのため日本国内専用であり、日本国外に輸出することはできません。

■本製品の使用による免責事項について

本機を用いて2.4GHz帯の無線データ通信を行う場合、下記の用途には使用できません。また当社は下記用途に対する一切の責任を負いかねます。

- 医療機器やその周辺、または航空機器や航空機内などへの使用。
- 故障・誤動作が人命に関わる機器などの、高度な信頼性が要求される用途への使用。

上記のほか本製品の故障・誤動作によるその周辺への損害、または取り付け方法やお客様側の瑕疵による損害、あるいは停電・落雷やそのほかの災害など、外部要因で生じた経済的・人的損害に対する一切の責任も負いかねます。

■セキュリティに関する注意

2.4GHz帯の無線データ通信は電波を使ってデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受けるおそれがあります。無線LANを使用する際は、その危険性を十分に理解し、データの安全を確保するためセキュリティ設定を行ってください。

■電波防害について

下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

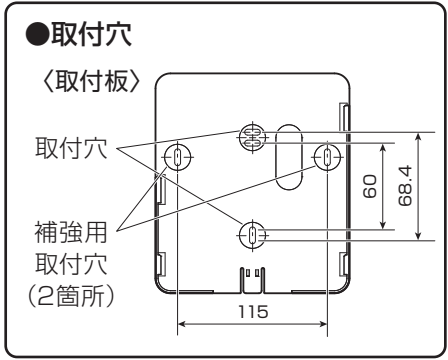
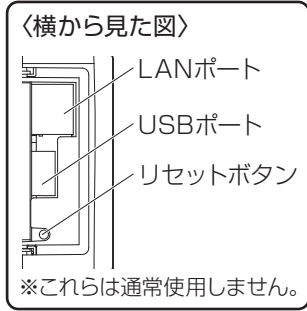
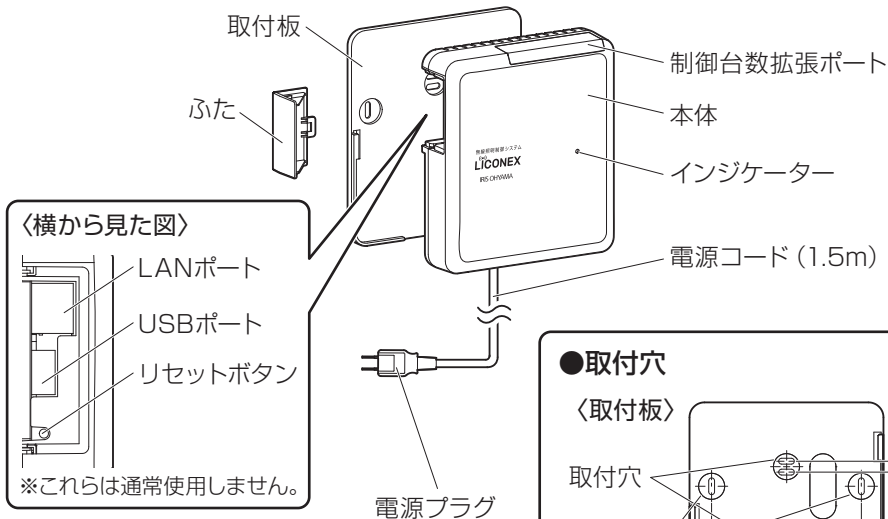
- 本機と照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 本機と照明器具間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 本機の周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- 金属物の壁面に本機を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 本機または照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 本機または照明器具の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
- 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため、照明器具と本機は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。

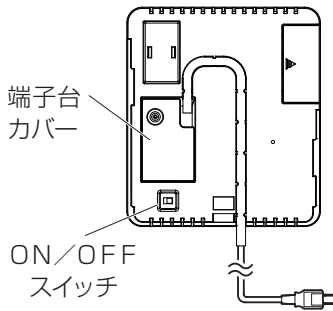
電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。

内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境が変化した場合、正しい調光動作ができない場合がありますのでご注意ください。

各部の名称



〈本体裏面〉



■仕様

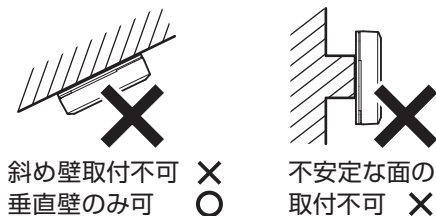
品番	IRLI-BM-V3
サイズ(mm)	W170 × H150 × D47
消費電力(W)	3.0
質量(kg)	0.5
主要材質	ABS樹脂

- 定格電圧：AC100～242V (付属電源コードは100V専用)
 - 定格周波数：50/60Hz
 - 使用環境温度：5～35℃
- ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

取り付けかた

■ 施工場所の確認

質量に十分耐えられる下地に取り付けてください。指定外の姿勢で取り付けないでください。

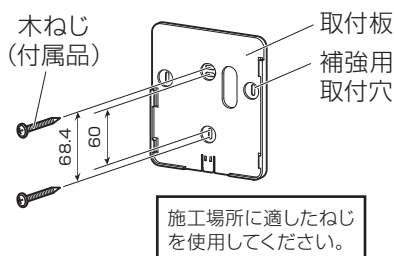


付属の電源プラグで給電する場合

1 取付板を壁面に取り付ける

右図の取付ピッチを参照し、上下いずれか2点をしっかり固定してください。

補強が必要な場合は左右の補強用取付穴を使用しねじ止めしてください。



2 電源プラグを差す

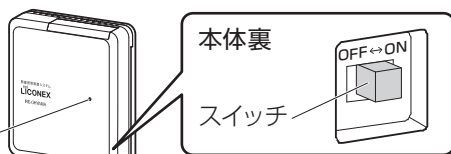
電源プラグをコンセントに差し込みます。



3 スイッチを入れる

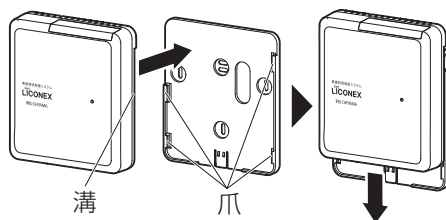
本体裏のスイッチをONにします。

インジケータが緑色に点灯します。



4 本体を取り付ける

本体の脇にある溝と取付板の爪の位置を合わせて、本体を下にスライドして取り付けます。



電源線 (Fケーブル) で給電する場合

1 安全確保のため電源を遮断する

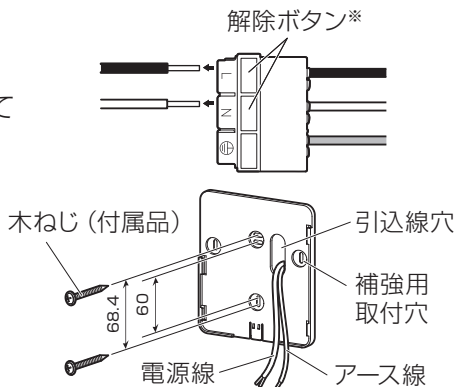
必ず電源を切ってから施工を行ってください。感電の原因になります。

2 端子台カバーを外し、本体から電源コードをはずす

本体の端子台にあらかじめ接続している電源コードを取りはずします。

3 取付板を壁面に取り付ける

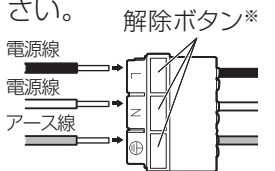
取付板の引込線穴より電源線とアース線を引き出してください。右図の取付ピッチを参照し、上下いずれか2点をしっかり固定してください。補強が必要な場合は左右の補強用取付穴を使用しねじ止めしてください。



施工場所に適したねじを使用してください。

4 電源線・アース線を接続する

適合するサイズの電源線・アース線を電源端子台の奥まで差し込んでください。



●適合電線

銅単線： $\phi 1.6 / \phi 2.0$
10~14mm

●端子台の容量：20A



警告 接続が不完全な場合や容量を超えると、感電・発熱・火災の原因になります。

●D種接地工事を実施



警告 接地工事を確実に実行しないと、感電のおそれがあります。

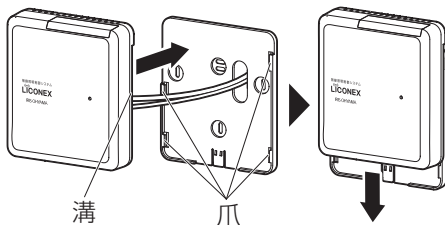
※電線を外すときは、必ず解除ボタンを⊖ドライバーで押し込んだまま線を引き抜いてください。無理に引き抜くと端子台内部が破損することがあります。

5 スイッチを入れる

本体裏のスイッチをONにします。

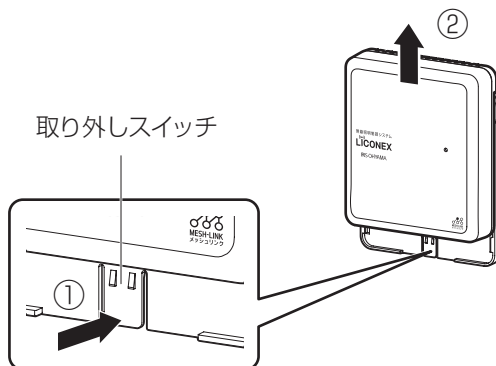
6 本体を取り付ける

本体の脇にある溝と取付板の爪の位置を合わせて、本体を下にスライドして取り付けます。



取り外しかた

取り外しスイッチを押しながら、本体を上にもスライドして取り外してください。

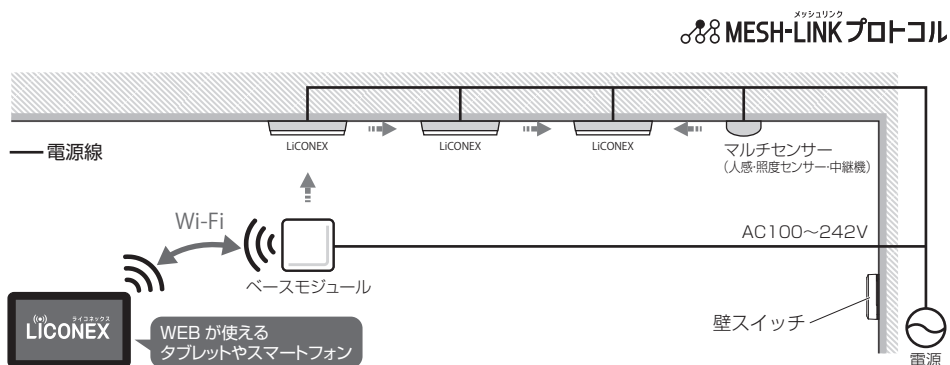


LiCONEX システムの概要

LiCONEX システムの構成図や設置条件、基本の操作画面の概要について説明します。

- 1 システム構成……………P12
- 2 無線通信の注意点……………P13
- 3 タブレットの接続のしかた……………P14
- 4 基本の画面構成……………P16

1 システム構成



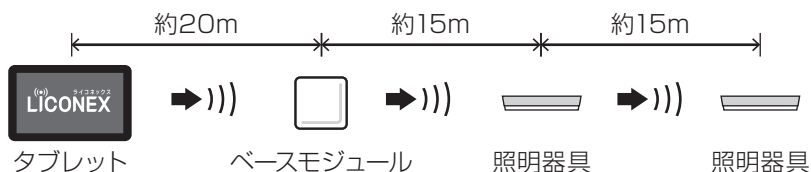
LiCONEX(ライコネックス)は、無線により照明を制御するシステムです。タブレットとベースモジュール(BM)は「Wi-Fi」により通信し、ベースモジュールから照明には、当社オリジナルの「メッシュリンクプロトコル」により通信します。「メッシュリンクプロトコル」は空いている周波数チャンネルを自動で検索する「適応型チャンネルホッピング」で耐障害性を強化したオリジナル通信方式です。詳しくは当社WEBサイトをご覧ください。

2 無線通信の注意点

■設置条件と通信距離

無線通信には通信距離に制限があります。
下記の通信距離以内になるように設置してください。

- ・タブレットとベースモジュールの通信距離：約20m
- ・ベースモジュールと照明器具の通信距離：約15m
- ・照明器具同士の通信距離：約15m



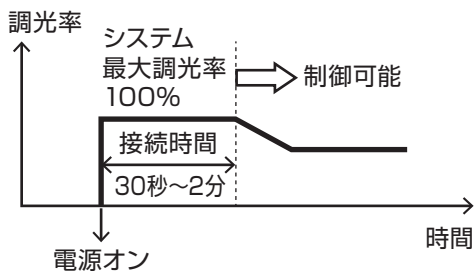
※設置環境によっては電波が届きにくい場合があります。その場合には中継機(別売)を設置することで通信できる可能性があります。詳しくは当社担当までお問い合わせください。

■通信復帰時間について

照明器具の電源をオフにすると通信が遮断されます。電源を再度オンにした際、通信が復帰するまでに一定の接続時間がかかります。

通信が復帰するまでの間は、制御状態にかかわらずシステム最大調光率*100%で点灯します。(接続時間は接続する灯具の台数により異なります。(30秒~2分程度)) 復帰するまではタブレットからの制御ができません。

※システム最大調光率についてはP30をご覧ください。



3 タブレットの接続のしかた

LiCONEX システムをコントロールするための、タブレットをベースモジュールに接続する方法を説明します。

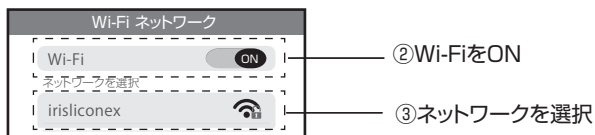
(タブレットのほか、スマートフォン、パソコンでも利用可能です。)

・推奨仕様

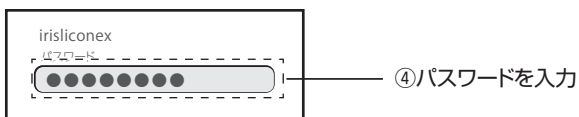
タブレット端末OS	Android 5.1 以降 iOS 9 以降
対応ブラウザ	Android : Chrome Ver.58.0 以降 iOS : Safari Ver. 10.0 以降
画面解像度	1920 X 1080 以上 (ディスプレイは10インチ以上推奨)
無線LAN	IEEE802.11n/g/b

・接続のしかた (Android、iOS共通)

- ①ベースモジュール(親機)のスイッチをONにします。
- ②タブレットの「設定」から「Wi-Fi」を選択しONにします。
- ③ネットワーク欄に表示される **irisliconex** ※を選択します。



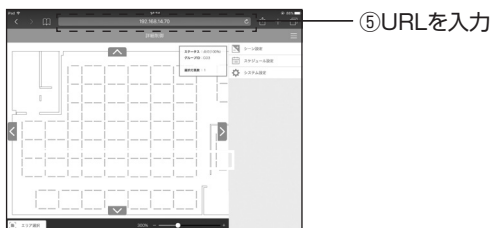
- ④パスワード(当社から提供)を入力してください。接続が完了します。



- ⑤WEBブラウザを起動し、アドレス欄に以下のURLを入力して開きます。

<http://192.168.14.70.8000~8004> ※

※ネットワーク名はお使いの環境によって異なる可能性があります。当社担当からお伝えします。
LiCONEX制御画面が表示されます。

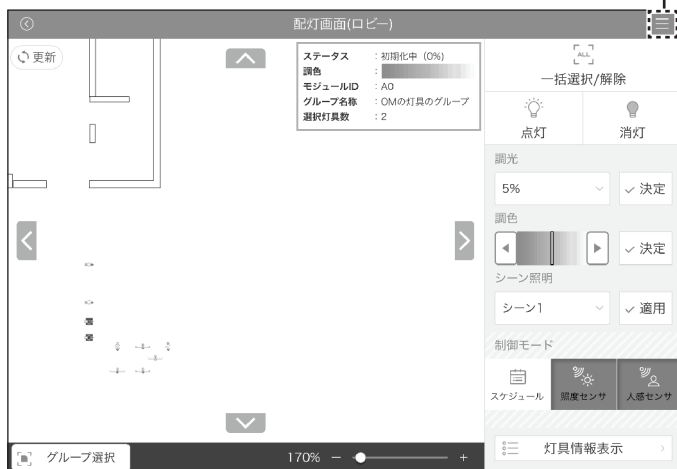


※画面はお使いの機器により異なります。

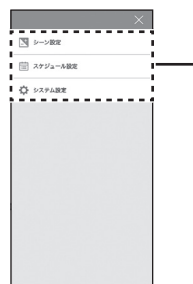
4 基本の画面構成

LiCONEX システムを制御するアプリケーションの画面構成です。詳細制御画面をホームとして図のように画面移動を行えます。それぞれの画面での操作方法は各頁を参照してください。

■配灯画面 (ホーム画面) (▶P18)



■メインメニュー



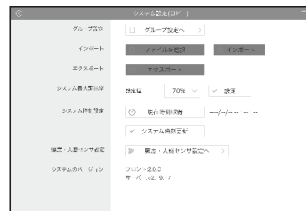
■シーン設定画面 (▶P24)



■スケジュール設定画面 (▶P25)



■システム設定画面 (▶P29)



照明器具の制御のしかた

点灯・消灯、調光の基本制御、シーンやスケジュールやセンサーを活用した自動制御のしかたなど、LiCONEXを用いた照明の制御のしかたを説明します。

- 1 配灯画面のみかた……………P18
- 2 基本制御(点灯・消灯／調光／調色)……………P20
- 3 シーン制御……………P24
- 4 スケジュール制御……………P25
- 5 センサー制御……………P26

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

照明器具の制御のしかた

1 配灯画面のみかた

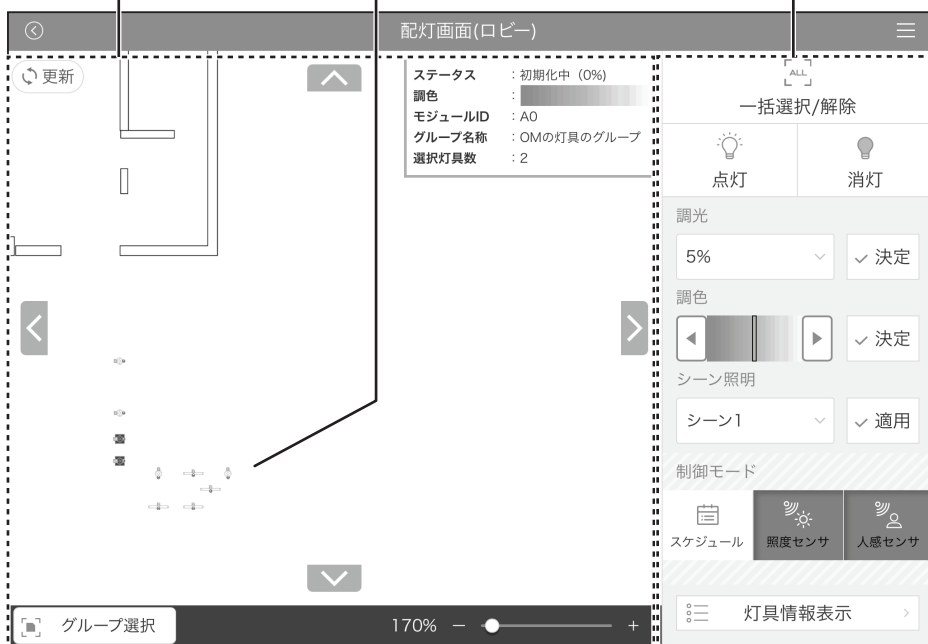
■配灯図表示エリア

配灯図を示します。灯具は灯具アイコンで示されており、選択して制御を行います。

■コントロールパネル

灯具の各種制御を行います。

センサー・灯具アイコン



[灯具アイコンの色と状態]

グレー … 消灯

スカイブルー … 点灯

グリーン … センサー連動中

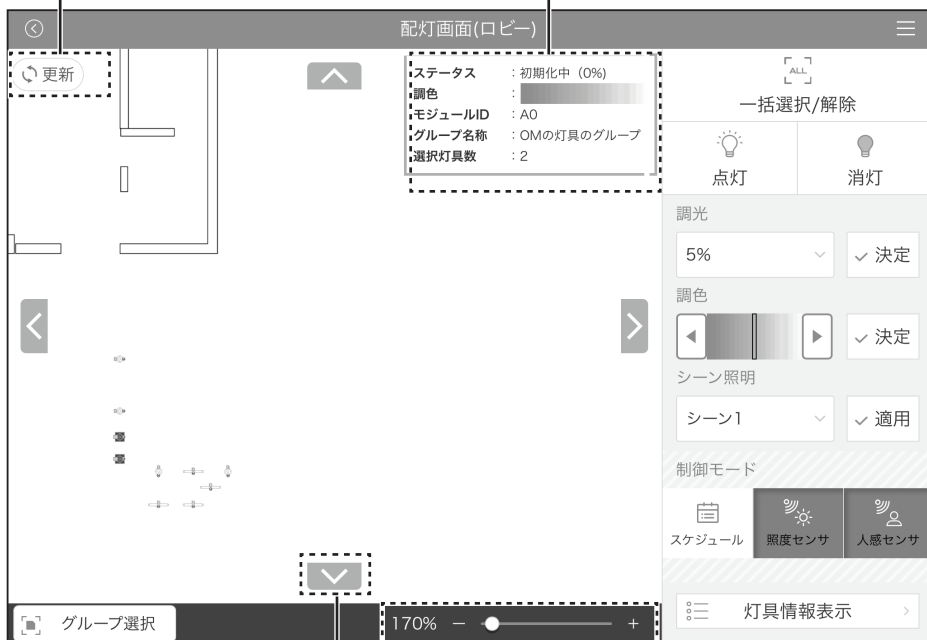
レッド … エラー/ソフト更新中

ブラック … 認識不能/電源OFF

❗ 左のマークが同時に表示されます。

画面の情報を更新します。

最後に選択した灯具の
情報、選択中の灯数を表示



上下左右の[✓]をタッチ
すると、その方向へ画面
移動します。
(スワイプも可能です。)

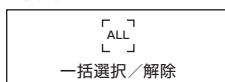
配灯図表示エリアの拡大/
縮小を行えます。
(最小100%~最大2000%)
(ピンチアウト、ピンチイン
も可能です。)

2 基本制御(点灯・消灯／調光／調色)

1 制御を行う灯具を選択します。

①全ての灯具を選択する場合

コントロールパネルの



ボタンをタップします。

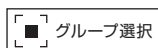
もう一度タップすると選択が解除されます。

②灯具を個々に選択する場合

配灯図表示エリアから灯具アイコンをタップして選択します。

[選択モードの種類]

画面左下のモード切替ボタンをタップすることにより切り替わります。



モード…タップした灯具アイコンが登録されているグループが選択されます。(一度に選択できるのは最大20グループです。グループの登録／変更の方法は当社WEBサイトの「システム設定グループ設定」をご覧ください。)



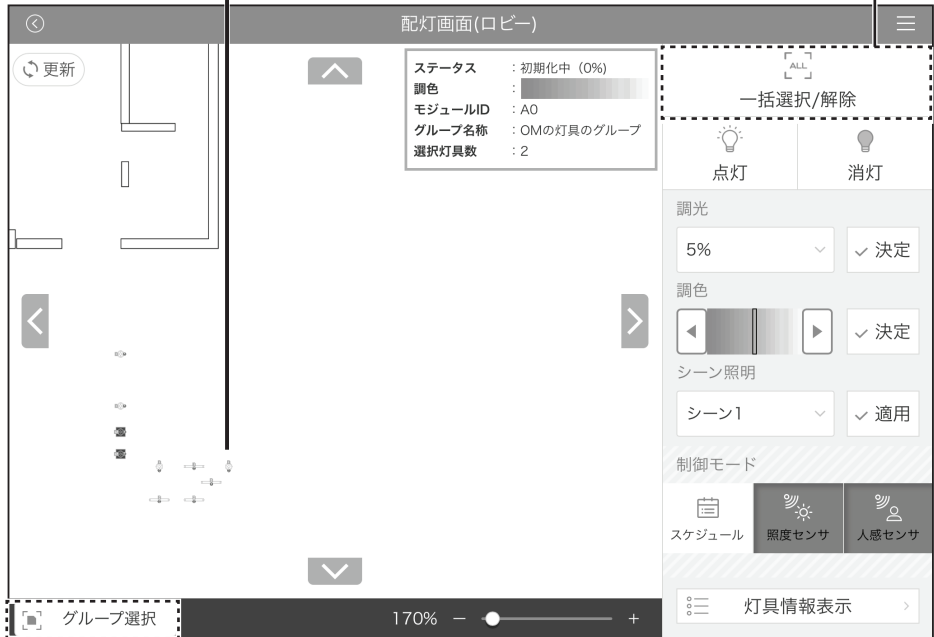
モード…タップした灯具アイコンのみが選択されます。(一度に選択できるのは最大20灯具です)

※配灯図表示エリア右上に、最後に選択した灯具の情報と現在選択している灯具の数が表示されます。

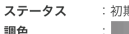
1-① 全灯具を
選択／解除

1-② 灯具アイコンをタップして
選択／解除

 選択して
いる状態  選択して
いない状態




配灯画面(ロビー)

ステータス : 初期化中 (0%)
調色 : 
モジュールID : A0
グループ名称 : OMの灯具のグループ
選択灯具数 : 2

一括選択/解除

点灯 消灯

調光
5%

調色


シーン照明
シーン1

制御モード
スケジュール 照度センサ 人感センサ

グループ選択 170%

灯具情報表示

個別選択

選択モードの
切り替え
現在の選択モードが
表示されます。

2 基本制御(点灯・消灯／調光／調色)つづき

2 選択した灯具に対し、制御を行います。

①点灯・消灯



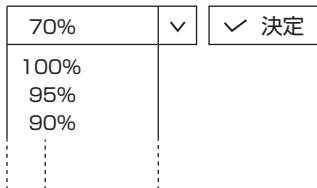
... 選択した灯具を点灯させます。
(点灯時の明るさは設定されたシステム最大調光率の100%です。)



... 選択した灯具を消灯させます。
(消灯状態にした場合、再び点灯させない限り、他の制御が効かなくなります。)

②調光

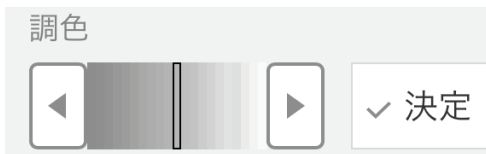
調光率を選択し、 ボタンをタップすると、選択した灯具が調光されます。



0%~100% (5%きざみ)
を選択できます。

③調色

調色(色温度)を選択し、 ボタンをタップすると、選択した灯具が調色されます。



調色範囲: -10 +10を選択できます。

2-① 選択した灯具の
点灯／消灯

配灯画面(ロビー)

更新

ステータス : 初期化中 (0%)
調色 : [slider]
モジュールID : A0
グループ名称 : OMの灯具のグループ
選択灯具数 : 2

一括選択/解除

点灯 消灯

調光

5% 決定

調色

決定

シーン照明

シーン1 適用

制御モード

スケジュール 照度センサ 人感センサ

グループ選択 170% 灯具情報表示

2-② 選択した灯具の明るさ
(調光率)を設定

2-③ 選択した灯具の色味
(調色率)を設定

3 シーン制御

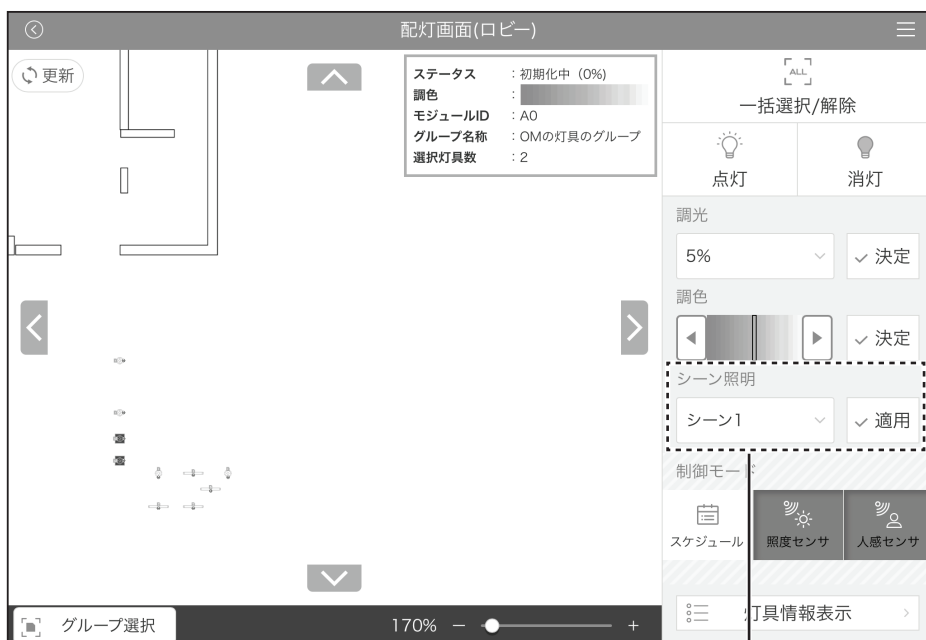
シーンの制御方法

コントロールパネルの「シーン」から適用するシーン名を選択し、

適用 ボタンをタップしてください。

※シーンは全グループに反映されます。

配灯図表示エリアから個々に照明器具を選択していても無効となります。



適用するシーン名を
選び反映させる

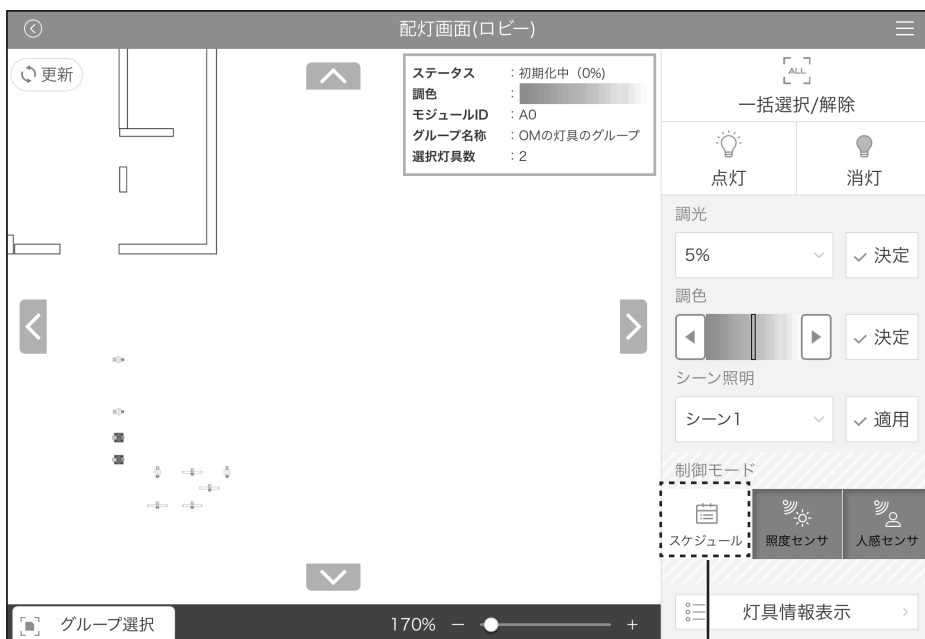
シーン1	▼	<input checked="" type="checkbox"/> 適用
シーン2		
シーン3		
...		

4 スケジュール制御

スケジュールの制御方法

コントロールパネルの  ボタンをタップします。

※スケジュールは上記の設定例のグループを含めた全グループに反映されます。配灯図グループから個々に照明器具を選択していてもスケジュール動作が優先されます(消灯状態の場合を除く)。



設定したスケジュール
を反映させる

※タップすると色が変わり、
作動状態となります。

5 センサー制御

照度センサー／人感センサーの制御方法

コントロールパネルの   ボタンをタップします。

各センサーとの連動状態になります。

※照度センサー機能、人感センサー機能の同時使用はできません。また、複数のセンサーを設置している場合、個別の制御はできません。詳細はマルチセンサーの取扱説明書をご覧ください。

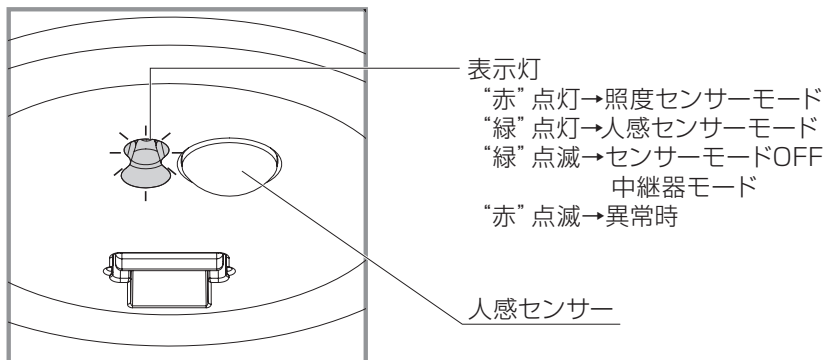


照度センサー機能をON/OFFする

人感センサー機能をON/OFFする

※タップすると色が変わり、作動状態となります。

各センサーモードになると、表示灯が点灯します。



各種設定のしかた

照明器具の自動調光機能、シーン別照明とスケジュールについて、設定のしかたを説明します。

初期の設定については当社担当が行います。設定の変更や追加の際に操作してください。

※設定操作はベースモジュールと通信できるエリア（通信距離約20m）で行ってください。

以下各種設定の詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

- | | |
|-----------------|---------|
| ■システム設定 | ■センサー設定 |
| ・グループ設定 | ■スイッチ設定 |
| ・インポート/エクスポート設定 | |
| ・システム最大調光率 | |
| ・システム時刻設定 | |
| ■シーン設定 | |
| ■スケジュール設定 | |

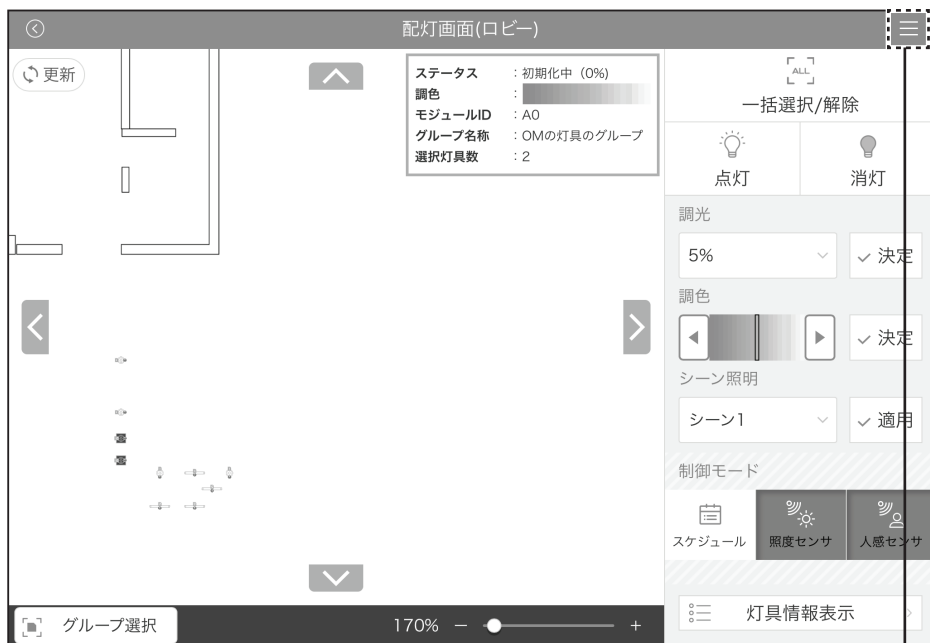
- 1 各種設定画面への移動……………P28
- 2 システム設定画面……………P29
- 3 システム最大調光率……………P30
- 4 システム時刻設定……………P30

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

各種設定のしかた

1 各種設定画面への移動

☰ メインメニューボタンをタッチし、各設定項目のボタンをタッチします。

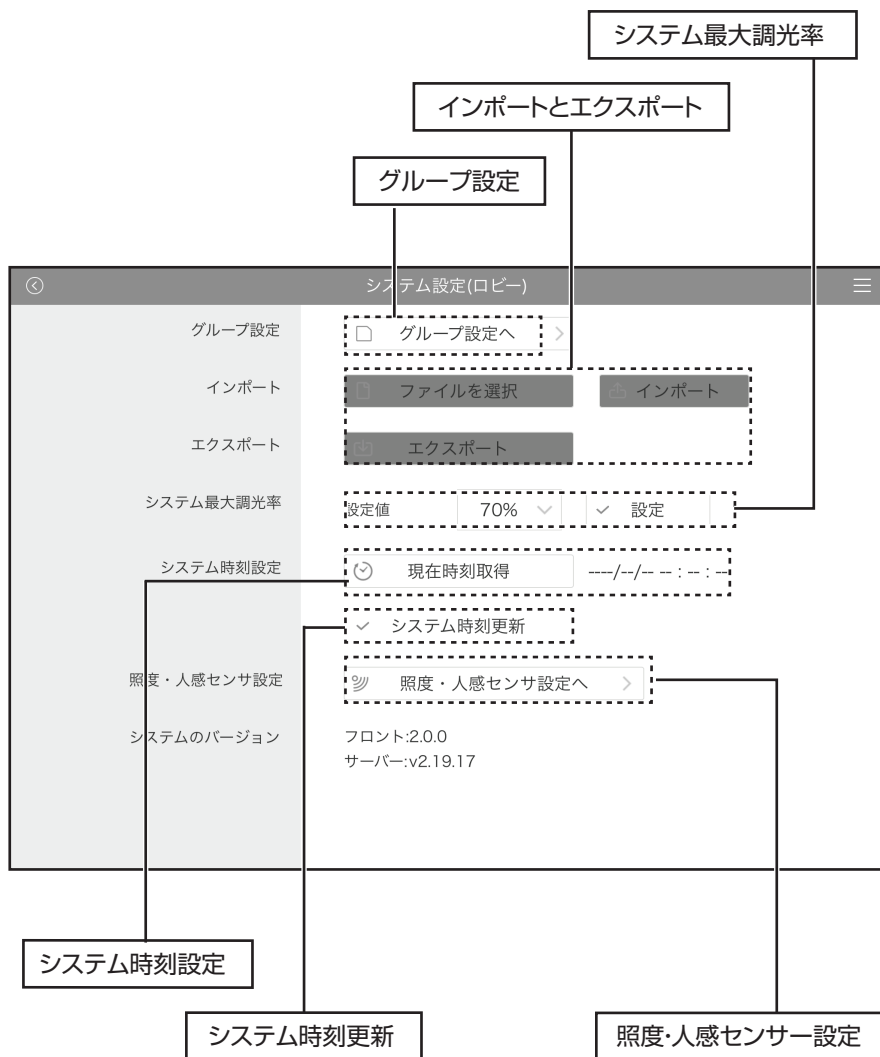


■メインメニュー



2 システム設定画面

本書ではシステム時刻表示／設定とシステム最大調光率を説明します。
その他の項目について詳細は当社WEBサイトをご確認ください。



3 システム最大調光率

制御上の調光率の最大値を設定します。(50%~100%)

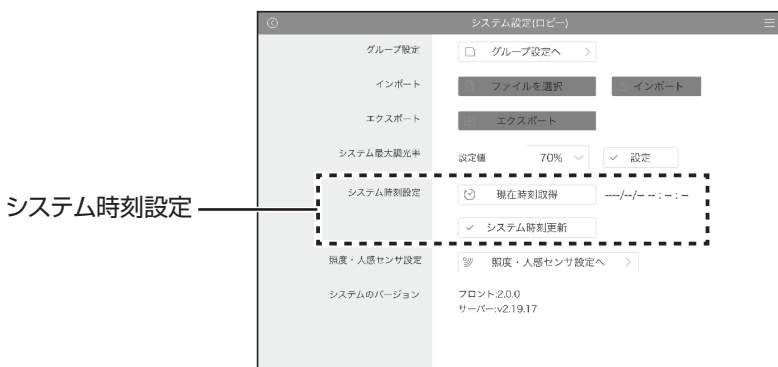
設定値を入力し 設定 をタッチします。

例：システム最大調光率の設定値が50%のとき、灯具を100%調光すると、50%分の明るさとなります。



4 システム時刻設定

タブレットの時刻を設定し、ボタンをクリックします。



システム拡張について



LiCONEXシステムの制御台数拡張機能、ベースモジュール同士の連携や操作画面について説明します。

- 1 ベースモジュールの灯具制御台数拡張
と複数台構成……………P32
- 2 マスターベースモジュールの制御……………P34

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

1 ベースモジュールの灯具制御台数 拡張と複数台構成

■ベースモジュールの拡張

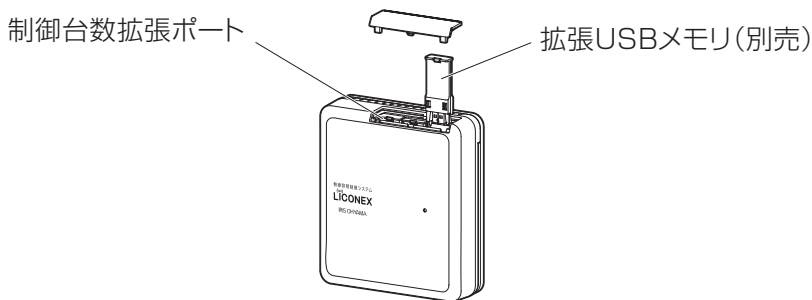
ベースモジュール構成	ベースモジュール台数	制御可能灯具台数
	1台	500台
	1台	2000台 ※拡張USBメモリをすべて使用した場合

■ベースモジュールの灯具制御台数拡張のしかた

ベースモジュールは拡張USBメモリ※(別売)を使用することで、灯具の制御台数を最大2000台まで拡張できます。

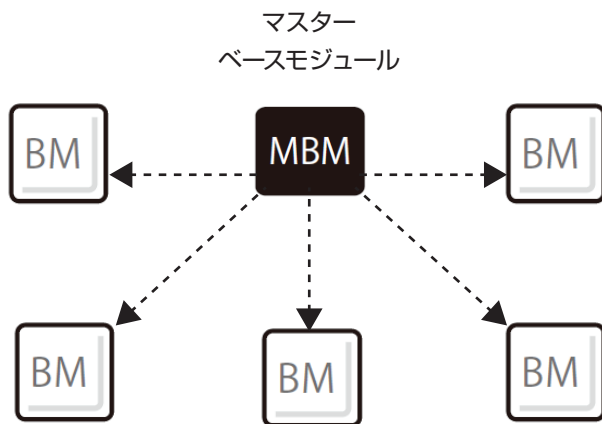
※拡張USBメモリ1台につき500台まで制御台数拡張ができます。

※ベースモジュール1台につき最大3台まで拡張USBメモリを追加できます。



■ベースモジュールの複数台構成

複数台のベースモジュールを設置した場合、設置したベースモジュールのうち1台をマスターベースモジュールとして設定し、他のベースモジュールと連携させることができます。1つのタブレットから全てのベースモジュールを操作できます。



マスターベースモジュール含め最大で6台の連携が可能です。

2 マスターベースモジュールの制御

制御を行うベースモジュールを選択します。

- ①全てのベースモジュールを制御する場合

コントロールパネルの

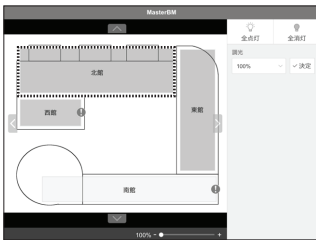


ボタンをタップします。

- ②ベースモジュールを個々に選択する場合

配灯図表示エリアからベースモジュールをタップすると、各ベースモジュールの画面に移動します。

マスターベースモジュール



ベースモジュール

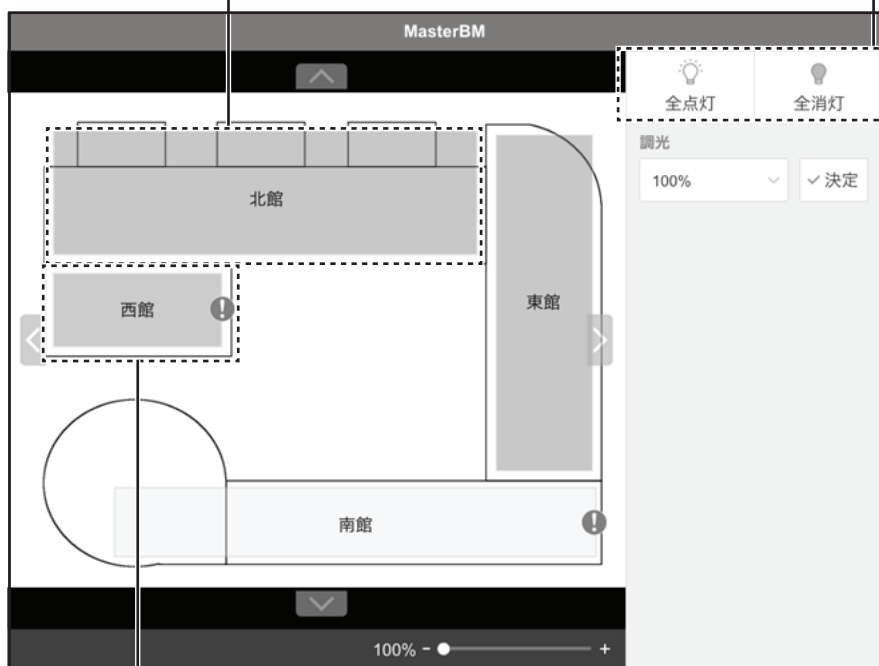


配灯画面








① 全ベースモジュールを
全点灯／全消灯



② ベースモジュールボタンをタップ
して選択







エラー表示中のベースモジュールは「!」が
表示されます。

お困りのときは……

現 象	考えられる原因	処 置
点灯しない	壁スイッチ、ブレーカーがOFFになっている	電源を入れてください。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;">  消灯 </div> の操作で消灯した ※消灯ボタンで操作した場合はスケジュールなどの制御動作ができなくなります。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;">  点灯 </div> の操作で点灯させてください。
調光できない (タブレット画面が表示されるが操作できない)	LiCONEXネットワークが繋がっていない	電源投入後、ネットワーク接続完了まで約2分お待ちください。
	照明器具の近くで強い電波を発生する機器が動作している。 (例：電子レンジ、アマチュア無線…etc)	電波を発生する機器を停止させ、再操作してください。
灯具のエラー表示が消えない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">  </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  灯具ハード異常／ <small>レッド</small> 設定ファイル更新中 </div>	約30分後に再度確認してください。 ※表示が消えない場合は灯具の不具合の可能性があるので、当社担当までお問い合わせください。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  通信ができていない／ <small>ブラック</small> 電源がOFFになっている </div>	電源が入っていることを確認してください。電源投入後、約20分経過したら再度確認してください。 ※表示が消えない場合は無線環境に問題がある可能性が高いので、当社担当までお問い合わせください。

現象	考えられる原因	処置
「配灯画面」を表示できない	タブレットとベースモジュールがWi-Fi接続されていない	<ul style="list-style-type: none"> ●お使いのタブレットとベースモジュール(本機)との距離を20m以内にして操作してください。 ●選択しているWi-Fiネットワーク名やパスワードが正しいことを確認してください。
	WebブラウザのURL間違い	「http://192.168.14.70.8000~8004」を入力してください。
	お使いのタブレットの設定上で、Wi-FiのネットワークのHTTPプロキシが「自動/手動」になっている	HTTPプロキシを「オフ」(iOS) または「設定しない」(Android) にしてください。
	お使いのタブレットの設定上で、Wi-FiのネットワークのIPアドレス設定がDHCPになっていない	IPアドレス設定をDHCPにしてください。
調色できない (タブレット画面が表示されるが操作できない)	 の操作で消灯した ※消灯ボタンで操作した場合はスケジュールなどの制御動作ができなくなります。	 の操作で点灯させてください。
時刻設定できない (タブレット画面が表示されるが操作できない)	LiCONEXネットワークが繋がっていない	電源投入後、ネットワーク接続完了まで約2分お待ちください。
	照明器具の近くで強い電波を発生する機器が動作している。 (例：電子レンジ、アマチュア無線…etc)	電波を発生する機器を停止させ、再操作してください。

お困りのときは……

現象	考えられる原因	処置
バックアップできない	壁スイッチ、ブレーカーがOFFになっている。	電源を入れてください。
	 の操作で消灯した ※消灯ボタンで操作した場合はスケジュールなどの制御動作ができなくなります。	 の操作で点灯させてください。
マスターベースモジュールが通信できない	ベースモジュールと通信できていない。	通信してください。
	照明器具の近くで強い電波を発生する機器が動作している。 (例：電子レンジ、アマチュア無線…etc)	電波を発生する機器を停止させ、再操作してください。
マスターベースモジュールが操作できない	壁スイッチ、ブレーカーがOFFになっている。	電源を入れてください。
	 の操作で消灯した ※消灯ボタンで操作した場合はスケジュールなどの制御動作ができなくなります。	 の操作で点灯させてください。
各ベースモジュールが操作できない	LiCONEXネットワークが繋がっていない	電源投入後、ネットワーク接続完了まで約2分お待ちください。
	照明器具の近くで強い電波を発生する機器が動作している。 (例：電子レンジ、アマチュア無線…etc)	電波を発生する機器を停止させ、再操作してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。
※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店、またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ② お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
- ③ 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源（電圧・周波数）の使用などによる故障および損傷
- ④ 車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
- ⑤ 施工上の不備に起因する故障や不具合
- ⑥ 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
- ⑦ 日本国以外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510

仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

<http://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは（通話料無料）
LED照明サポートコール

0800-111-5300

（受付時間）平日9:00～17:00、土・日・祝日9:00～12:00 / 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAXでのお問い合わせは
（通話料無料）

0800-888-2600

Webからのお問い合わせは
（メールアドレスにご記入のうえ送信してください）

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>

603032
060718-RKK-GXJ-01
P090818-RKK-GXJ-01